

センター
便り

絆
きずな

第199号

発行所

社会福祉法人
西陣会

HP: <http://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org

〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451-8971
FAX (075) 451-5700

発行者: 南大路 文子
編集責任: 土屋 健弘

郵便振替口座
01030-5-23086



ホームページでも
ご覧になれます

当法人への寄付金は、課税控除対象となりますので、その為の受領書が必要な方はお申し出下さい。

私の中の「西陣会」

評議員

余根田

保

二〇二四年度よりご縁があつて社会福祉法人西陣会の評議員に就任させて頂いたばかりになりました。京都市社会福祉協議会(以下、社会福祉協議会)は社協という)で働き二〇一五年三月に定年退職、二〇二一年度から乾隆学区の自治連合会で副会長として主に社協を担当しています。他に精神障がい者の就労継続支援B型事業所を運営するNPO法人、高齢者の有償生活支援サービスを行うNPO法人で理事をしています。

これまでを振り返ってみると「西陣会」とは三つの場面での出会いがありました。その一つは、一九九一年から上京区社協の事務局を担当することになった時期、障害者自立援助事業「ふらっと」(西陣会の年表で一九八九年開始となっております)のことが知った時のこと。そして一九九二年の四月に「京都市民福祉センター」が設立されたこと。

な基盤を持たれず、行政からの支援も期待できない中で、上京区西陣の地域でこれらの事業を立ち上げられたことは驚きでした。上京区社協として地域福祉活動を進める上で力強い存在、仲間としての西陣会との出会いです。

二つ目は、私の長男が小学一年生になった一九九五年、西陣児童館の学童保育に登録して利用することになったこと。それがご縁で一年間だけでしたが学童保育の親の会の代表を務めさせていたいただき、これを機に西陣会の活動についてより理解を深めさせて頂いたのだと思つています。その当時長男を担当いただいた職員の方が今も仕事をされている懐かしい西陣会です。

三つ目は、一九九五年九月、社会福祉法人西陣会となり、そして二〇〇〇年には、生活支援事業「レスパイトサービス」を実施される時期に出会つたこと。現在、多角的活動・事業経営を行っている西陣会の基盤ができた時期だったのではないでしょうか。数名の職員さんが働く西陣市民センター「西陣会」から、「市民福祉センター」として今の西陣会を担う職員の皆さんが入職される新たな発展の幕開けになった時期であつたと思います。

夏だった秋フェス

居宅サービス係所長 赤尾 幸雄

二〇二四年九月二十九日
(日) 第二回目の秋フェスが無事に終了しました！

暦上は秋のはずなのに当日は残暑厳しく、まだまだ夏の気候だったため来年は名前を変えないといけないかも(笑)。

職員が複数グループに分かれ、趣向を凝らした模擬店やゲームコーナーは楽しんでもらえましたか？ 大汗をかきながら熱々鉄板で焼きそばを作って下さった京都めいぶるワイズメンズクラブの皆様、何かに使つとまるでサントラのように大袋で大量のクレーンゲームの景品を持ってきてくれた長年のボランティアアさん、色んな人が支えて下さっています。本当にありがとうございます。

ございます。

センターがあるこの場所での地域で、障がいがある方がお年寄りまで色んな人がごちゃまぜのワイワイガヤガヤとても楽しく意味のあることだと思つています。来年もやりますよ！



ただいま準備中



さあ～誰でもかかってくるよ！



大人気の輪投げコーナー



めいぶるさん授与式



またのお越しを～

地域生活支援センター

西陣会居宅サービス係

新たなスタート

林 由希

四月入職から半年が経とうとしています。西陣会入職前までは、他事業所で主に重度訪問介護（身体障害※肢体不自由の方、入浴介助、排泄介助、体位変換、痰吸引、胃ろうの注入等や医療的ケア介護）の支援を

メインに従事していました。介護をはじめた当時は、精神の方や高齢の方の支援にも関わっていました。最近では本場に医療的ケア支援ばかりでした。その中で、デイセンターふらつとへ見学に来ないかと

誘っていただき、恐る恐る西陣会に足を踏み入れてみると、見たことのない段ボール（手作りパーテーション）などの数に「なに〜ここ〜これがデイサービス!!」と驚きました。初めて見る光景にワクワクする感情が芽生えました。

こんな福祉事業所に出会うのは初めてと、いざ入職してみると、ミスばかり。なかなか思い描いていたようにいかないことも多いですが、支援に入る中で一つずつクリアを目指して、日々頑張っています。応援してください。

西陣会居宅サービス係

はじめまして、福祉の世界

小林 泰斗

今年度六月より入職させていただいた小林です。他業種からの転職組で、まったく福祉とは縁遠い所からやってきました。右も左もわからない中、最初に感じたことが「こんなに直接目の前の人のためにできる仕事があったのか」という衝撃と、「この仕

事向いているかも〜」というワクワクでした。元々人のためになる事が好きで、前職は飲食業に勤めていたのですが、だんだんと料理が作業のようになりつつあることに気付いた時、自分のためだけに仕事をしているのを感じ、すごく孤独を感じた

のを覚えています。そして思い切つて新天地を探し始め、将来食い逸れないだろう、と安易な気持ちで入った福祉の道で、ひよんな事から「西陣会」と出会い、今に至ります。まったく未経験の分野でまだまだ分かる事が少ないですが、なによりもまずは、一人前の支援者になれるよう精進し、利用者さんたちの人生に長く寄り添える支援者を目指していきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

支援センター「にじじん」

偶然から紡がれる縁

相談員 上竹 希

皆様こんにちは！七月から支援センター「にじじん」で働かせていただくことになりました。上竹（うえたけ）と申します。

私は九州の出身で、ちょうど一年ほど前まで他県の相談支援事業所で働いていました。その後、縁があり京都市に来ることになりました。京都では病院の相談員として働いてきました

が、徐々に病院ではなく地域で働きたいという思いが出てきました。そんな時、たまたま平安神宮近くで散歩していた時に、近くで福祉の求職フェアをやっているのを見つけて、その中の西陣会のブースにお仕事のお話を聞きに行ったことがこちらで働くきっかけとなりました。

偶然の出会いから、支援センター「にじじん」で採用をしていただき、相談員として働くことになり、入職直後から様々なケースを通して、色々な方との出会いがありました。なかには同じ九州の方もおられ、京都でお会いできるのもご縁だなあ・・としみじみ感じております。

お電話だけで、まだお会い出来ないご利用者さんも沢山おられるので、いつかお会いできる日を楽しみにしております。西陣会で出会えたご縁を大切にしながら、他県で培った経験を活かして、ご利用者さんの地域生活がよりよくなるよう、取り組んでまいります。

デイセンターからつと

変わりゆく中で

所長 本林 直人

この九月に六年毎に行われる生活介護事業の指定更新がありました。これで三回目になります。思い出せば二〇〇六年に支援費制度から自立支援法に変わり、猶

予期間もなく、デイサービスは新しい制度事業に移行しなければならず、色々な情報が正確に伝わってこない中、どの事業に移行するのか、そのための書類作成

などに追われていたの
を思い出します。

青空に向かって!! (嘉楽運動会)

あれから十八年。生活介護と就労B型の多機能型から、生活介護だけに
り現在に至ります。定員も十五名から二十三名まで増やしてきまし

たが、行き場所の見つからない方達を受け入れて、一日最大二十八名受け入れていた時期もありました。(現在は最大二十五名の日があります) 利用者が増えることで、全員を全員で支援していくことが難しくなり、ユニット制に変えて、活動を行う形になりました。細やかな支援ができる良さもありますが、各ユニット間の連携や全体を把握していくことの難しさもあります。(今は各ユニットに誰もが入れられるような連携が取れ始めています。) 場所を変えて活動したこともありました。二〇一九年に耐震補強工事の為に、ユニット1・3が使っている本部奥の建物が使えず、小松原の家の母屋や、西亀屋の分室を使用しました。三か月ほどでしたが、利用者さんにとどのようにお伝えして、理解していただくか、同じやり方では難しく、それぞれに合っ

たやり方でお伝えしました。それでも混乱ししんどい思いをさせてしまった人もいます。

変化に弱い方が多い中で、今度は劇的な変更が必要になりました。児童館を含めた本部の建物建て替えです。まずは工事期間中の引越し先を考えなければなりません。そこでの過ごし方も考えなければなりません。一年半後ぐらいに新しい建物に戻ってくることも考えなければなりません。利用者さんに不安を与えない

いように、どのようにするのか考えなければなりません。考えることがとても多くあります。でもワクワクしている自分があります。引越し先や、新しい建物で、どのような楽しい活動ができるだろうか、どんな笑顔を見せてくれるのだろうか、もしかすると新しい利用者さんを受け入れられるかもしれない。皆と一緒に考えて大変だけど楽しさを見つけていきたいと思っています。

支援センター「きらリンク」

個別避難計画のこと

相談員 小野 紀代子

能登半島地震が記憶に新しい中、この夏さらに訪れた南海トラフ地震臨時情報と台風十号の予報にはほぼ全国で警戒感が高まった。これらの報道を見て不安

を訴える利用者もおられ相談に乗った。結果として京都は幸い大きな被害を免れたが、自分の中には「今回は良かったが：何かあったその時はどれだけ支えられ

るだろうか」という気持ちが残った。

災害発生時、障害者や高齢者、難病患者等は情報把握や避難行動等で特に配慮が必要とされる。この人々の避難行動を円滑・迅速にするため、利用者個別の状況に合わせて事前に避難の仕方や避難先を決めて文書化したものを「個別避難計画」と呼ぶ。

令和三年、災害対策基本法の改正でこの計画作成が市町村の努力義務とされた。京都市では一定の要件(①本人の身体的状況 ②居住地が土砂や浸水の警戒区域)を満たした限られた利用者だけになるが作成を進めることとなっている。作成を担うのは、利用者のことを普段からよく知る福祉専門職である。さらリンクでもここ二年ほど、該当する利用者数名とそれぞれ相談しながら作成に取り

組んできた。本人の心身状態や家族構成、住居の状況等を踏まえ、どこへ・誰と・どのように避難するかを書き進める。その過程で、備蓄品や持ち出し品を調達し、必要な相手との連絡手段を確認しておくなど、利用者自身でできること、支援者や地域住民とともに進めることも明確になると感じた。

さらリンクの担当する左京区・北区には鴨川や花折断層があり、いつ「その時」がやってくるかわからない。漠然とした不安を抱えつつも、できることから始めていくしかない。個別避難計画作成はその取り組みの一つである。日頃から防災意識を高め、知識・情報の収集はもとより利用者や関係機関との意見交換を継続し備えを増やしたい。

地域活動支援センター「ふらっと」

地域活動支援センター「ふらっと」が三十五周年を迎えました

所長 宮崎 一 弥



妻籠宿でちょっと一服。

二〇二四年度、地域活動支援センター「ふらっと」(以下地活ふらっと)は発足してから三十五年を迎えました。地活ふらっとは毎週月曜、水曜、金曜の夜に実施している事業で、障がいのある方の『余暇支援』『本人支援』『社会参加』を目的に活動を実施しています。五年前の三十

周年行事の際は、まだコロナ禍前だった為、ギリギリ行事を楽しむことが出来ました。その直後、新型コロナウイルスの蔓延の為、活動の縮小など余儀なくされた暗いトネルの期間を抜け、周年を迎えた今年度、ようやく地活ふらっとらしい活動である旅行に行くことが出来ています。これらの行事は、京都めいぶるワイズメンズクラブの皆様の温かいお支えのお陰で、思い出深い楽しいひと時を過ごすことが出来ました。心より感謝申し上げます。

ご利用者の皆が、自分たちの行きたいところを自分たちで選んで、様々な人と出会い、お互いが笑顔になれる関係づくりを目指して、これからも活動を続けていきます。

路地裏ステーションニュース

西陣児童館

学童クラブ..夏休みの 昼食弁当サービスの導入

鬼塚 義正

「学童にお昼ご飯がセツトで出てくれたらなあ。考えてくれへん？」

ある保護者と話していた

際に出てきた言葉です。確かに夏休みなどの長期休みになるとご家庭で毎日お弁当などのお昼ご飯のことを考え対応に迫られます。保育園でも毎日給食があり、小学校に入っても給食があったのに学童には食事の提供はありません。

西陣児童館では、これまでもお弁当いらぬいデーと称して、みんなでレトルトを持ってきて食べる日を作ることはありましたが、

日々食事の提供までは現実的ではないとなかなか手立ては打てず家庭の問題となっていました。

ただ、世間的にも注目度が高まってきている学童の夏休みの昼食の問題をどうしていくべきか、京都市内の他の児童館の話を聞くと昼食を日々提供しているところはあまりないようでした。

ならばとお弁当を提供する業者を調べ、保護者が簡単にスマートフォンから注文できる仕組みを持つていたところを選定させていただきました。また、保護者



みんなで虹をかけよう！（学童クラブ）



地域の方々の笑顔に包まれて…（パレード♪）

の皆様にも当初よりアンケートでニーズ確認しながらご要望を反映できる形で業者と一緒に作っていつて、この夏休みを迎えています。

その結果、予想よりも多くの方から希望を受け、お

弁当の提供ができています。また今後に向けてご意見いただいたことから課題も見え、業者とも共有し、もっと保護者にも子どもにも寄り添える内容へとすめていけたらと思います。

学童クラブでは、安心安

全への取り組みや、意見を聞くことを子ども中心にやっています。ですが、保護者の意見も大切にして、今後も様々な取り組みをすすめていきたいと考えています。今後とも様々なご意見お待ちしています。



活動日誌

【本部・京都市民福祉センター】

7月

- 1日 レクリエーション委員会
- 2日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
新任職員研修（武田理事）
- 4日 総務委員会
- 5日 新任職員研修（中山理事）
- 8日 OJT担当職員座談会
月曜集会
- 11日 新任職員研修（南大路理事長）
- 12日 ふくしのお仕事相談会
新任職員研修（尾上社労士）
- 22日 産業医面談
安全衛生委員会
- 27日 レクリエーション企画「なんちゃって職員食堂」

8月

- 5日 ステップアップ研修
①②委員会
- 6日 京都府福祉人材サポーターセンター福祉職場ジョブチャレンジ4名受入（～28日）
元四丁目地蔵盆・足洗安全衛生委員会

9月

- 30日 ステップアップ（プレ）研修③
- 3日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
総務委員会
- 5日 月曜集会
- 9日 虐待防止・身体拘束禁止マネージャー会議
- 12日 西陣会秋フェス
- 29日 産業医面談
- 30日 安全衛生委員会
月曜集会

【居宅サービス係】

7月

- 8日 京都市要望書提出（居連協）・事務局会議（居連協）
- 14日 居宅職員会議
- 19日 サービス提供責任者会議

8月

- 16日 サービス提供責任者会議
- 18日 居宅職員会議
- 19日 北の勉強会
- 24日 知的・精神障がい者ガイドヘルパー養成講座（ガイヘル研修）（～9月8日）

9月

- 22日 ガイヘル研修閉講式
居宅職員会議
- 27日 サービス提供責任者会議

【デイ活動日誌】

7月

- 22日 ユニトリリーダー会議

8月

- 5日 ユニトリリーダー会議

9月

- 7日 デイ職員全体会議
- 9日 ユニトリリーダー会議

【西陣児童館】

7月

- 23日 小学校夏季休暇期間（～8月25日まで）
- 24日 上京消防署の協力による避難訓練
- 27日 出前児童館（館内水遊び）

8月

- 10日 学童クラブ流しぞうめん
- 19日 京都府警による防犯講習
- 24日 学童クラブ高学年イベントin指月林

9月

- 18日 放課後児童健全育成事業の指導監査（京都市）
- 28日 出前児童館（かき氷屋さん）

【きらりんく】

7月

- 3日 左京こころのふれあいネットワーク総会
- 5日 北部自立支援協議会運営会議
- 18日 北部自立支援協議会地域懇談会
- 25日 北部自立支援協議会夜のZoom交流会

8月

- 6日 障害者虐待防止に係る窓口職員向け研修
- 19日 基幹型支援センター研修事業北部圏域相談支援事業所座談会
相談支援スキルアップ研修
- 20日 基幹センター会議
- 22日 障害支援区分審査会
- 28日 北部自立支援協議会児童養護自立支援連絡会

9月

- 2日 北部自立支援協議会児童養護自立支援連絡会
- 7日 北部自立支援協議会支援センター部会
- 19日 基幹支援センター事業権利擁護連絡会
- 25日 15支援センター合同研修会

【ひろく】

7月

- 4日 中部自立支援協議会

8月

- 1日 令和6年度進路に関する意見交換会
- 15日 中部自立支援協議会運営会議
- 28日 相談支援専門員カフェ
基幹支援センター会議

9月

- 1日 医療的ケア研修
- 5日 中部自立支援協議会事務局会議
- 12日 機能集約合議体
- 17日 相談支援従事者（～18日）
- 19日 現任研修講師派遣
中部支援センター支えあいの会

※毎月、施設長会議・主任会議を実施しています。
その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っております。

センター往来

◎7月12日、ハートピア京都で開催された「ふくしのお仕事相談会」に出展させていただきました。

◎7月27日、レクリエーション企画「なんちゃって職員食堂(夏のワンプレートごはん)」を行いました。

◎8月24日、元四丁目町内会の地藏盆が行われ足洗に児童館・京都市民福祉センター館長の中山が参加させていただきました。

◎8月6日～28日、京都府福祉人材サポートセンター主催の「福祉職場ジョブチャレンジ」にて学生4名を受け入れました。

◎9月1日、これからの京都市民福祉センターについて語らう「KATARIBA #2」の開催を予定しておりましたが、台風10号の影響で中止とさせていただきます。

◎9月8日、西陣の朝市マルシェに出店させていただきました。

◎9月29日、第二回目の「西陣会秋フェス」を開催いたしました。

◎9月24日、京都めいぶる



おやつをくれなきゃいたずらするゾ!(児童館)

ワイズメンズクラブ様より地域活動支援センターふらっとへ助成金10万円をいただきました。心より感謝いたします。

◎建物の建て替えの為、福祉施設建築に関するセミナーや勉強会、見学会など参加させていただいています。

○月曜集会今後の予定
11月11日・11月25日・12月9日(クリスマス会)
予定が変わる可能性もありますので、ご確認いただいたうえで、ご越しください。お待ちしております。



住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて(075)451-5700迄ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

○法人本部

○京都市民福祉センター

○地域活動支援センター

○ふらっと

○地域生活支援事業

○レスパイトサービス

TEL(075) 451-1897
FAX(075) 451-1570

○西陣児童館

○京都市放課後等

○デイサービス支援事業

TEL(075) 451-1897
FAX(075) 451-1570

○西陣会居宅サービス係

○相談支援事業所きぎな

TEL(075) 417-3410
FAX(075) 441-1521

○デイセンターふらっと

TEL(075) 417-3411
FAX(075) 441-1521

○西陣会ホームとなり

○シヨートステイゆう

TEL(075) 468-1068
FAX(075) 441-1521

○西陣会ホームきたまち

TEL(075) 462-1355
FAX(075) 462-1356

○京都市中部障害者地域生活

○支援センターにしじん

TEL(075) 417-1630
FAX(075) 451-1369

○京都市北部障害者地域生活

○支援センターきらりリンク

TEL(075) 752-1006
FAX(075) 752-1007